



俳諧文庫

七十一

61
深川之介
附録

5

1139

61



5
1139
61



Handwritten bleed-through text from the reverse side of the page.

お柳下の江舟の市中に下着てくる
同様に六尺の長方形の器の
信をよこす一冊の書物に
お柳の書物に
高くてお柳の書物に
お柳の書物に
お柳の書物に
お柳の書物に

三行

わが身は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて

わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて
わが心は世の中の人々に
あはれみの心をもて

各 孫 ちよと

祇 尹

うららかにの柳の影のよき

を柳と白とをさうらのよき

うらむの池よつたあき柳の

あつたの打目ようく柳の

その池よきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

あきとくあきあきあき柳の

五ノ

をく

芳都

ふき

湖全

巴孫

芳都

班嶽

秋文

木尾

乃市

芳雨

柳子

地雲

春柳

水白の柳とあり、此あり
ちうやくわおんえととふ此物な
まふくぬちあふふどのちうやく
梅
柳
水
麻

所願忌

三三柳

おちたー柳とふか家
どのふかふかふかのふか
洗河

以昔忌

日吉のふかふかのふかのふか
あふあふあふあふあふあふあふ
洗河
洗河

馬水忌

あふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふ
洗車

石燈忌

暮らさるるの事向ふ事 洗車

清くさらす事の御法 河

洗車法

垢を落とすに水と洗布

洗つてよくすすぐ事 洗

洗布法

暮らさるるの事向ふ事 洗車

清くさらす事の御法 車

洗車法

垢を落とすに水と洗布

洗つてよくすすぐ事 洗

名所

きよのこころと申れうららの山 洗石

どのちうて海—きよの海かんこも 洗草

ありたきの月うらら 塚の柳うら 洗牛

きよもきよのうらうら 古根の柳うらう 洗睡

そのきよとよきうらうら 柳うら 洗衣

あ—きよ—きよ—きよ—きよ—のぬ 洗櫛

入おしきりさきさのうらうら 洗髪

うらうら洗牛佛のきようら 洗塚のあうらう

きよのきよのきよと建ててきよのきよのきよ

きよのきよのきよのきよのきよのきよのきよ

きよのきよのきよのきよのきよのきよのきよ

きよのきよのきよのきよのきよのきよのきよ

きよのきよのきよのきよのきよのきよのきよ

の世に言家の人いふ事らんかとおろし
とてしん

信ありし柳とありし

三斗坊

信ありし

文通 名古より

しん—とあふふ—柳 古河 柳 柳
しん—とあふふ—柳 古河 柳 柳
しん—とあふふ—柳 古河 柳 柳

若葉かき取れし—とあふふ— 五斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志
あふふのあふふ—とあふふ— 三斗坊 柳志

どちんのまうとさうりら組 子夏

一 宛このぬまうふー 葵子の玉 良和

八景集

如くうりふ身か幸なて旅子のく

少く向くふとる存心あけはの 朝香

涙くまの月つよちとまらしく 玄郎坊

追刻

白山文集 文選

京二条寺所

橋屋治兵衛梓

白山下碗亭仙書出梓目錄

一梅勳進 蠶坊 一國志什 文鳥 一旅名錄 款雲 雲車

一雪山城 雲光 一雲物集 文鳥 一茶摘錄 玄武坊

一木下落 凡切 一安公話 世中 一古今錄 五調

一志山百韻 文鳥 一洒多志 函水 一交衣集 似可

一也子本集 已散 一二教考心 祇尹 五葉 一志山文集 文鳥

一三會集 祇尹 五葉 一志山望 鄧松 一 圖之

一系之天 冬市 一 香嵐



